



Application Note AN-H-127

逆滴定によるアルミニウムの温度分析 - アルミニウム測定のための迅速かつ堅牢な技術

Fast and robust technique for aluminum determination

温度測定による錯滴定手順は、溶液中のアルミニウムの測定に適合しています。この場合、シリカの干渉のためにフッ化物による直接滴定は実行できません(たとえば、粘土、セオライト、またはその他のアルミニノケイ酸塩含有物質の消化による)。

新しい方法では、温度測定インシケーター(過酸化水素)を使用して、終点で急激な温度変化を示します。すべての過剰なEDTAか銅(II)滴定剤と反応すると、最初の微量の遊離Cu²⁺イオンはHを引き起こしま

す₂O₂非常に急速に分解し、溶液の温度が急激に上昇します。反応熱 ΔH_f の場合₂O₂ → H₂O + [O]は約-98kJ / mol、つまり強酸と強塩基の反応中に発生する熱の2倍です。これにより、この手法は非常に堅牢になります。

さらに、温度を監視しながら滴定剤を継続的に添加するため、温度滴定の滴定時間は非常に短くなります。結果は通常2~3分以内に得られます。

SAMPLE AND SAMPLE PREPARATION

硫酸アルミニウムとカリウムミョウハン塩かサンフルとして使用されます。アルミニウム塩か入っている三角フラスコに、過剰のEDTA溶液とアンモニア

溶液を加えます。次に、得られた溶液を沸騰させながら5分間攪拌して、アルミニウムとEDTAとの間の錯化反応を促進する。

EXPERIMENTAL

室温まで冷却した後、溶液のアリコートを滴定に使用します。続いて、アンモニア緩衝液と過酸化水素を加える。過剰なEDTAはCuで逆滴定されます²⁺ 解決。

温度滴定は、 **ティアモTM 859Titrotherm**およびThermoprobeと組み合わせたソフトウェア。



Figure 1. サーモプローブとティアモを装備した859Titrotherm。アルミニウム分析のセットアップ例。

RESULTS

<0.3%

1 $\text{Al}_2(\text{4})_3 \cdot 16 \text{H}_2\text{O} \cdot (\text{AlK}(\text{SO}_4)_2 \cdot 12 \text{H}_2\text{O})$

$\text{Al}_2(\text{4})_3 \cdot 16 \text{H}_2\text{O} / \%$		$\text{Al AlK}(\text{SO}_4)_2 \cdot 12 \text{H}_2\text{O} / \%$
n	8	10
	7.87	5.11
SD(abs)	0.02	0.01
SD(rel)	0.25	0.20

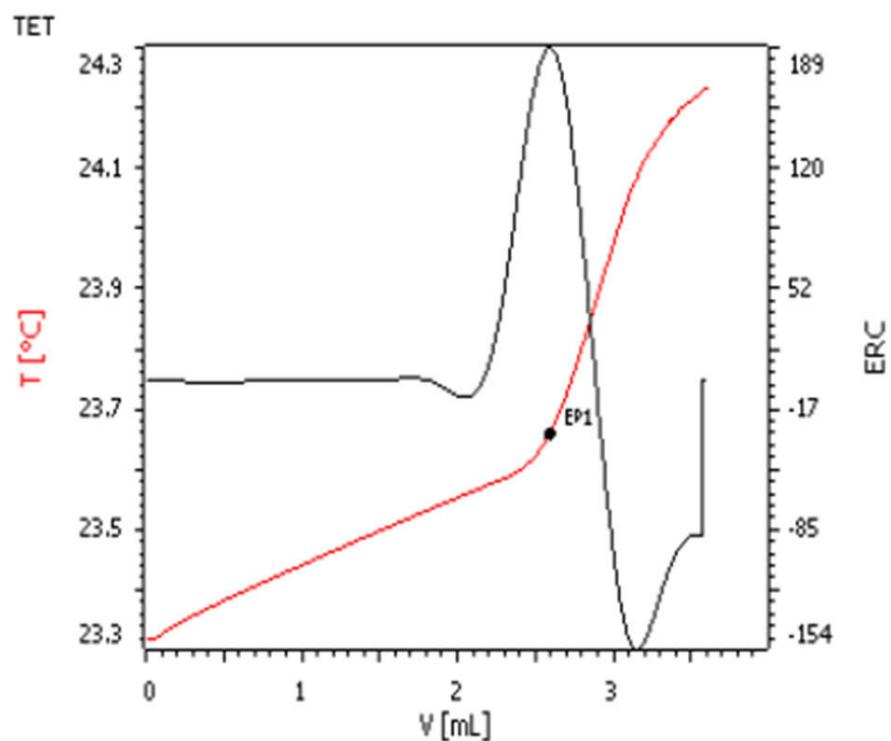


Figure 2.

CONCLUSION

Internal reference: AW TI CH1-1305-042020

CONTACT

143-0006 6-1-1
null 9

metrohm.jp@metrohm.jp

CONFIGURATION



859 Titrotherm komplett tiamo™

温度滴定のためのPC制御による自動滴定装置。 温度滴定のための付属品一式を含む(10 mLのヒュレット、フロヘラスター付き滴定スタント、サーモフローフ、滴定容器、*tiamo*TM light)。



800 Dosino

800 Dosino 高機能電動ヒュレットのトーションクユニット用書き込み・読み取り用ハートウェア付き駆動部。固定されたケーブル付き (長さ150 cm)。



807 Dosing Unit 10 mL

807 Dosing Unit、10 mL カラスシリンターおよび遮光機能付き統合型データチップ付き、ISO/DIN カラスネシ規格 GL 45 で試薬ホトルに取り付け可能。FEP チューフ接続部、反拡散チップ。